

## 国際化学肥料ニュース（2025年10月）

### 肥料業界の2025年10月動態

\* 10月1日、インド RCF 社は新の尿素国際入札を行う。10月15日〆切と開札、購買数量が西海岸100万トン、東海岸100万トンの合計200万トン、12月10日まで船積みという条件である。これは今年インド7回目の尿素国際入札である。

\* 8月下旬、サウジアラビアの Ma'aden 社が所有するアンモニアプラントの一つが故障で緊急停止したことで、修復には60日以上がかかり、年末までに少なくとも30万トンの減産となる。その影響で、アンモニアの国際相場は上昇し続けている。

Yara 社と Mosaic 社は、9月に10月積みのアンモニア CFR タンパ契約を590ドル/トンで決まり、8月に契約した9月 CFR540ドル/トンより50ドル高い。さらに Mosaic 社は2023年後半以来の最高値でルイジアナ州ファウスティナに生産されたアンモニアをフロリダ向けに購入された。

アルジェリアの Sorfert 社も EU 向けにスポット価格を FOB560~570ドル/トンに上げることに成功した。カリブ海のトリニダードも生産能力が逼迫して、10月下旬と11月上旬出荷のアンモニアが FOB580ドル/トンで取引されている。

\* イギリスの調査会社 Argus の速報によれば、インド10月初めの DAP 在庫数量約240万トン。9月の DAP 輸入量99.4万トンに加え、国内生産量31.7万トンもあり、9月の販売量96.7万トンを引いても34.4万トンの在庫増となった。インド政府の食糧安全保障政策による補助金の増額で、今年の財政年度（4月~翌3月）の DAP 輸入量は4月から9月の6か月だけで400万トンに達し、過去3年間の平均である273万トンを大きく上回った。

昨年からの中国のインドに対する尿素と DAP の厳しい輸出規制を受け、インドはサウジアラビアとモロッコに DAP の安定供給を依頼してきた。7月にはインドの複数輸入業者がサウジアラビアとモロッコ産の DAP と重過石を確保するためのオフテイク契約を締結した。IPL、クリブコ、コロマンデル社は、5年間にわたる契約で、サウジアラビアから年間310万トンのリン酸塩（主に DAP）を確保し、7~9月の3か月間サウジアラビアから114万トン DAP を輸入した。モロッコの OCP との契約では、年末までに合計150万トン DAP の供給であるが、7~10月のモロッコ DAP 輸入量は合計101万トンの見込みである。

\* 10月第2週（6～12日）の尿素国際相場は15日に開札されるインド RCF 社の尿素国際入札の結果を待って、動きが停滞している。東半球ではインドネシア Kaltim 社は販売入札で FOB390 ドル/トンで大粒尿素を販売し、Gresik 社も FOB380 ドル/トンで小粒尿素を販売した。中東では FOB380～390 ドル/トンで低下し続けている。イランはさらに安い FOB365～370 ドル/トンで数件の契約を結んだ。

西半球では EU の需要不振で北アフリカ尿素メーカーが沈黙している。ナイジェリア Dangote 社は小粒尿素を FOB400 ドル/トンで南米に販売し、大粒尿素の CFR ブラジル価格が 415～435 ドル/トンで安定している。

\* 中国窒素肥料工業協会のデータによれば、新規尿素プラントの完成と稼働により、2025 年上半期の中国尿素生産能力が 251 万トン増加し、7640 万トンになった。2025 年下半期にさらに 341 万トンの新規生産能力が完成・稼働され、生産能力が史上最大の 7900 万トンに達する。また、2025 年 1～8 月の尿素実生産量が 9.7%増の 4743.56 万トン、10月5日現在のメーカー尿素在庫量が昨年同期の倍の 145.98 万トン、流通在庫を含むと、2025 年の尿素余剰量が 500～600 万トンに増える見通しとなる。

10月に開かれた中国窒素肥料工業協会の懇談会に於いて、2026 年の尿素輸出割当数量 800～900 万トン、国内価格が警戒線以下に下がったら、緊急に輸出数量を増加する仕組みの導入、割当枠がメーカーに重点を置き、割当数量の決め方などを透明化する要望が提出した。

\* 中国窒素肥料工業協会の統計データによれば、2023 年中国硫安生産能力 2400 万トン、実生産量 1638 万トン、2025 年に生産能力が 2800 万トン、2030 年に 3400 万トンに達する見通しとなる。2024 年の硫安生産量のうち、コークスの副産硫安が 58%、カプロラクタム副産硫安が 31%、残りは樹脂工業の副産硫安および発電所排ガス脱硫副産硫安などである。中国硫安の 80%以上が輸出され、ブラジルが最大の輸出先で、次いでトルコ、ベトナムの順である。

\* 中国税関の速報によれば、2025 年 9 月の中国化学肥料輸出量が 68.4%増の 544 万トン、その内訳は尿素が 14421.1%増の 137 万トン、硫安が 30.8%増の 225 万トン、DAP が 40.9%減の 39 万トン、MAP が 75.0%増の 21 万トン。

9 月の中国化学肥料輸入量が 6.2%減の 122 万トン、その内訳は塩化加里が 5.2%減の 110 万トン、NPK 化成肥料が 9.1%減の 10 万トン。

\* 10月15日に締め切りと開札されたインド RCF 社の尿素国際入札は 25 社計約 370 万トンの応札がある。東海岸向けの応札数量 174.87 万トン、最低応札価格 CFR395 ドル

／トン、西海岸向けの応札数量 195.32 万トン、最低応札価格 CFR402 ドル／トンである。前回 9 月 2 日開札されたインド NFL 社の尿素国際入札に比べて、最低応札価格が 62.7～66.5 ドルも大幅に下がった。

- \* バングラデシュ政府は 8 月に行った国営バングラデシュ農業発展公社 (BADC) の塩化加里国際入札で応札された CFR393.70 ドル／トンの価格が高すぎて、16 万トン塩化加里の入札をキャンセルした。
- \* カナダの Nitrogen 社は 10 月 23 日からトリニダード・トバコの Point Lisas にある窒素肥料工場を操業停止および閉鎖すると発表した。Point Lisas 窒素肥料工場はトリニダード・トバゴの国立エネルギー公社 (NEC) による港湾アクセス制限と、安定的かつ経済的な天然ガス供給の不足により、正常な操業ができないと判断を下したという。Nitrogen 社の Point Lisas 窒素肥料工場は月間 8.5 万トンアンモニアと 5.5 万トン尿素が生産している。発表によれば、Point Lisas 窒素事業の閉鎖により、Nitrogen 社の 2025 年窒素販売量が 1,070～1,120 万トンというガイダンス範囲内に収まると予想される。
- \* 10 月第 3 週 (13～19 日) の尿素国際相場は 15 日に開札されるインド RCF 社の尿素国際入札の結果を受け、やや元気になった。中東産小粒尿素と大粒尿素が 5 ドルほど上がって、それぞれ 395～400 ドル／トン、395～405 ドル／トンになった。ただし、中国尿素は 10 月 15 日の輸出「法定検査」申請締め切りにより、値動きがない。西半球ではロシアへの経済制裁強化の影響を受け、ロシア産尿素が 10 ドル以上下がったが、北アフリカ産尿素が値上げに転じた。エジプト産大粒尿素の FOB 価格が 20 ドルも上がり、440 ドル／トンになった。
- \* 10 月 15 日、中国尿素とりん安 (DAP と MAP) の輸出「法定検査」申請が締め切られた。インドへの輸出規制により、尿素の輸出数量割当枠が約 100 万トンも残されたようだが、りん安の輸出が順調で、輸出数量割当枠がほぼ消化された模様、最終にバングラデシュ国営農業発展公社 (BADC) に 20 万トン以上の DAP 輸出が許可された。
- \* 10 月 29 日に開催された中国窒素肥料工業協会の検討会において、2025 年末中国尿素的年間生産能力が 7900 万トンを超え、実生産量も 7200 万トンに達し、新記録となる見通しである。ただし、肥料用尿素の需要量が 4200 万トン、工業を加えても、年間消費量が最大でも 6550 万トンしかなく、余剰量が約 700 万トンと予測される。

中国政府の尿素輸出規制より、2025年尿素輸出量が約300万トン、国内尿素がだぶつき、工場出荷価格と販売価格が一段と押し下げる。窒素肥料メーカーの収益が大幅に悪化して、多くの企業が赤字に苦しんでいる。1～8月窒素肥料業界全体の利益が26.1億人民元（約3.67億ドル）しかなく、赤字企業の赤字総額51.7億人民元（約7.28億ドル）、昨年同期より50.3%も増えたことも発表された。

- \* 10月15日に開札されたインド RCF 社の尿素国際入札が最終に43.1万トンしか契約できなかった。その理由は応札数量が約370万トンであるが、応札価格がほとんど CFR420ドル/トン以上で、最低応札価格の CFR 東海岸 395ドル/トン、CFR 西海岸 402ドル/トンで応じるところが少なかった。
- \* 10月第5週（27～11月2日）の尿素国際相場はインド RCF 社の尿素国際入札の契約結果および中国尿素輸出申請の締め切り、EUバイヤーの活躍で再び値上げに反転した。東半球では中東産大粒尿素的の FOB 価格が405～415ドル/トン、東南アジア産大粒尿素的の FOB 価格も400ドル/トン以上に上がった。西半球ではエジプト産大粒尿素的の FOB 価格が445～455ドル/トンで、前週より10ドル上がった。ナイジェリア Dangote 社は販売入札で FOB400ドル/トンで2船の尿素的を販売した。大粒尿素的の CFR ブラジル価格が420～430ドル/トンに若干上がった。

## 大手各社の営業業績

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* エジプトは硫酸加里の生産能力増強に力を入れている。肥料メーカーの Evergrow 社はギザ県 Abu Rawash 工業団地にある硫酸加里製造設備を拡張し、2026年に年間生産能力を36万トンから42万トンに増強する計画を発表した。また、エジプト金融工業公社（Egyptian Financial and Industrial）も2025年末にスエズ県 Ain Sokhna に年間生産能力4万トンの硫酸加里プラントを新設する予定である。肥料メーカーの N-Fert 社もモスフィア県 Sadat 市の自社工場に年間生産能力6万トンの硫酸加里プラントを新設して、硫酸加里生産能力を年間12万トンに増強する計画を発表した。
- \* オーストラリア北部準州政府は Northern Territory 社の Ammaroo リン鉱山開発プロジェクトのリン鉱石採掘ライセンスを承認した。Ammaroo リン鉱山は世界最大級の未開発リン鉱石資源の一つであり、北部準州の州都ダーウィンの南1300kmに位置して、すでに確認されたリン鉱石資源量11億4000万トン。Northern Territory 社は今回年間200万トンの25年間採掘ライセンスの承認を得たことで、融資機関やパートナーと迅速

にプロジェクト資金の最終調整を進め、最終的な投資決定と 2027 年の建設開始に向けて道筋をつけることを発表した。

- \* 中東カタールの国営 **Qatar Energy** 社は建設中の年間アンモニア生産能力 120 万トン規模のプロジェクト「**Qafco 7**」を 2026 年 4 月に稼働させる可能性があることを発表した。当該アンモニアプラントはアンモニア合成過程に発生した二酸化炭素を回収・貯留 (CCS) 設備を備え、年間 150 万トンの CO<sub>2</sub> を回収・貯留することができるという。
- \* カナダの **Millennial Potash** 社はアフリカのガボンに探鉱中の **Banio** 加里プロジェクトについて、加里鉱床は地下 230~560m のところにあり、鉱床の平均厚さ 70m、主成分はカーナリタイトで、平均 KCl 含有量 16.8%、推定加里鉱石埋蔵量 11 億 5000 万トンと発表した。
- \* エチオピア政府はエチオピア国営 **Ethiopian Investment Holdings** 社とナイジェリア **Dangote** 社が合弁でエチオピア **Gode** 市に年間生産能力 300 万トンの尿素工場を建設することを正式に許可した。当該尿素工場は **Calub** ガス田から 108km のパイプラインを通じて供給される天然ガスを原料にして尿素を生産する。建設費用約 25 億ドル、着工から 40 カ月以内に完成するとされているが、建設開始日は明らかにされていない。

## その他

- \* アメリカの **CF Industries** 社はレイジアナ州 **Donaldsonville** 工場から認証済みのブルーアンモニアを初出荷したことを発表した。**Donaldsonville** 工場はアンモニア製造プロセスで発生する CO<sub>2</sub> を年間最大 200 万トン回収・貯留プロジェクトを 2025 年 7 月に完成し、稼働が開始した。**CF Industries** 社は **VACI** 認証の低炭素ブルーアンモニアを年間約 190 万トン生産する見込みである。初出荷の 23,500 トンブルーアンモニアはシンガポールの貿易会社 **Trafigura** 社を通して、オランダの **Envalor** 社のベルギー **Antwerp** 工場に運ばれ、カプロラクタムの生産に供する。
- \* カナダは政府系の重要鉱物研究・開発・実証 (CMRDD) プログラムを通じて、**Arianne Phosphate** 社に最大 73.5 万カナダドルの投資を条件付きで承認されたと発表した。この資金はカナダの重要鉱物サプライチェーンの構築を目的として、2025 年 G7 首脳会議の際にカーニー首相が発表した 8,030 万カナダドル投資の一部である。  
当該資金はカナダ産リン酸の供給源を確立するために、**Arianne Phosphate** 社がケベック州にあるカナダ最大のリン鉱山 **Lac à Paul** のリン鉱石を処理し、リン酸精製プロセスを最適化する取り組みを支援するものである。

\* アメリカの Mosaic 社は休止中のブラジル Patos de Minas リン鉱山の売却に関して、ブラジルの Fosfatados Centro 社に売却手続きをすべて完了したと発表した。

最終契約条件に基づき、Fosfatados Centro 社は Patos de Minas リン鉱山および鉱滓ダムの責任を引き継ぎ、Mosaic 社に現金 1 億 1,100 万ドルを支払う。そのうち 5,100 万ドルは取引完了時に支払われ、残額はその後 4 年間にわたり分割払いする。買収後、Fosfatados Centro 社は Patos de Minas リン鉱山を再開し、ブラジルの農業にリン酸肥料を供給することを承諾している。